

建設経済常任委員会記録

日時 令和8年5月26日（火）

場所 第三委員会室

午後 2 時 12 分 開 会

○佐藤喜紀委員長 ただいまから建設経済常任委員会を開会いたします。

本日は全員出席であります。

直ちに本日の会議を開きます。

1 政策提言について

○佐藤喜紀委員長 本日の議題は、政策提言についてであります。

委員の皆様には、5月13日の会議において、農業委員会及びA社との意見交換内容に基づき、大変活発なご議論をいただき感謝申し上げます。本日は、前回の議論を踏まえ、今期の委員会における政策提言のテーマを最終決定いたします。

前回の会議では、委員の皆様から大変貴重なご意見をいただきました。「農業委員会」の切実な担い手不足や経営基盤強化の課題、A社における『えるぼし』認定を活用した若者・女性に選ばれる職場づくりの実績。これらを受け、多くの委員から「基幹産業である農業をテーマにすべき」との声を頂戴いたしました。

5月13日の委員会閉会后、武田副委員長と私の方で、皆様の意見をどのように一つの政策提言テーマとしてまとめるか協議をさせていただきました。そこでの結果として、この2つの分野は決して分けて考えるべきではないと至りまして、農業法人の経営体数が減少する一方で、1経営体当たりの耕作面積が拡大し、今現在、中小企業並みの売上・管理が求められる時代です。農業法人においても、製造業等で成果を上げている「えるぼし」や「くるみん」といった、若者や女性に選ばれ、安心して働き続けられる評価・認証メカニズムを積極的に取り入れていくべきではないかという結論に至りました。そこで政策提言テーマ案として提示をさせていただきたいと思います。

案としまして、「**持続可能な農業経営基盤の強化**」。

本市にとりましては、最重要の基幹産業である農業を守るために、単なるハード支援だけでなく、中小企業並みの経営管理支援や、若者・女性が就農しやすく、かつ働き続けられる環境を整備するための提言を行いたいと考えております。この方向性について、委員の皆様からご意見、ご質問を頂戴したいと存じますがいかがでしょうか。

安藤委員。

○安藤浩夫委員 先般2班に分かれて、A社と、また農業委員会との意見交換を経て、その二つが合わさるようなテーマだと私は感じました。やはりこれからはただの農業法人でなくて、実際に若い女性が就職して働いているところもございますし、ぜひ働きやすい環境を備えた農業法人等がこれからの大きな目標ではないかと思いますので、ぜひそのテーマでやっていただきたいと思います。

○佐藤喜紀委員長 他にございませんか。

他の委員の皆様からの発言もないようではありますが、ただいま提示いたしました内容を当

委員会の政策提言テーマとして決定することにご異議ございませんか。

(異議なし)

○佐藤喜紀委員長 ご異議なしと認めます。

よって、今期の政策提言テーマは、ただいまの内容に決定いたしました。

今後はこのテーマに基づき、具体的な調査研究、先進地視察など、さらに議論を深めてまいります。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

次に進みます。

２ その他

○佐藤喜紀委員長 その他に移ります。委員の皆さんから何かございますか。

(な し)

○佐藤喜紀委員長 事務局から何かございませんか。

(な し)

○佐藤喜紀委員長 それでは、これをもちまして建設経済常任委員会を閉会いたします。

お疲れ様でした。

午後 ２ 時 １ ８ 分 閉 会